

校長室訪問【こんなインタビューでした】

Q1、以前高中で4年間、教鞭をとっていらっしやったとのことですが校長先生になられた現在と違うところは？

子供たちはほとんど変わらないです。
前の方が不登校は少なかったかなと思います。
僕は高中に異動してきて2年間は担任をして、2年生3年生と持ち上がりました。
勉強もできて、部活動も一生懸命やっていましたね。
ただね、ちょっと大変な子もいました。格闘だらけの、僕のクラスなんか。
しかし、今でもペイフォワード運動などは変わらずにありますね。
子供たちは全然変わらないです。
逆に大変だった子は今はいないかな、少しおとなしくなったのかもしれない。
以前は全学年4クラスでしたが今はクラスが少し増えました。
やっぱり懐かしいですね、授業を見ていると、
僕もこここのクラス、担任だったなぁと思い出します。



Q2、他の学校と高中の違うところは？

高中は杉並区の中でも生徒の数が多くて、今年は2番目です。1番が井草中です。
人数が多いのでやっぱり、部活動なんかも盛んですし、パワーがあります。
高中の前は杉並和泉学園の中学部だったので各学年2クラスでした。子供たちはほとんど変わらないです。
やっぱり人数が多いと行事も部活動もパワーがあふれていますね。

Q3、何か体力作りはされていますか？

管理職になってから運動しなくなり、そうしたら体力が見る見るうちに落ちてました。
以前はバレー部や野球部の顧問をしたり、ボールを投げたり、打ったりしていて、体力もあったから
1日1万5千歩ほど歩いていたかと思います。管理職になってからそういったことが無くて、太ってきたから
これではいけないと思って、この2、3年は、歩いて体力作りをしています。
まず、午前と午後は校舎内を先生の授業や子供たちの様子を見たりして3千歩から5千歩くらい歩きます。
学校への行き帰りは自転車で20分くらいなので歩数が足りないときは徒歩に変更して50分かけて家に帰ります。
そうするとだいたい1万歩から1万5千歩くらいになるので、そのようにして体力作りをしています。
学生時代は中・高・大学とずっとバレーボールをしていました。
こんな背が低いのに…もっと違う競技をやればよかったなとも思います。

Q4、お休みの時はどのようにお過ごしですか？

最近3年生の部活動の大会試合が入っているので
毎週土日、どこかの試合の応援に行って高中ブログに結果を載せています。
【高中ブログ<http://www.suginami-school.ed.jp/takaidochu/kocho.html>】
5月のGW明けから土日はほとんど部活の大会を見に行き行って応援しています。
見に行くのも楽しいですよ、子供たちも一生懸命にやっているので。
本当はコロナがなければ保護者もたくさん応援に駆けつけられるけどできないので、
大変申し訳ないです。
今度サッカー部は高中と和泉学園があたります。
和泉学園ではサッカー部の顧問をしていたのでどうしようと、笑。
見に行った時は真ん中に居ようかと考えています。

Q5、このコロナ禍の今だからこそ、生徒たちが身につけておきたい力は何だとお考えですか？

ひとつは、コロナのことも消毒のことも3密のことも自分たちで考えて行動するという事です。
これはコロナの前でもそうです。中学生になると自分で考えて行動しようということはあったと思いますが、
それをもう一度考えなくてはならないですし、授業でも先生が答えを教えるのではなくて考える授業というのが
増えてきています。基礎はちゃんと教えるけれど、それ以上は、自分から主体的に勉強したり、
主体的に何かをやる事が大切なのかなと思っています。

この前も朝礼で子供たちに話をしたのですけれども、『何で体育大会やるのかな？』と。
子供たちは『クラスの団結力』と答えました。
それなら自分が具体的にどのように貢献できるかを考えたり、何でもいいと思うのです。
運動が嫌いな子もいるわけだから応援でもいいですし、スローガン書く子がいてもいいのではないのでしょうか。
そういった何でもいいからクラスに貢献できることは何だろうと。
こんなことを考えてもらおうと、楽しくない体育大会の子もいるかもしれないけれど
自分が貢献できれば少しは見方が変わります。そうすれば違うのではないのでしょうか。そういう話をしました。

2021年6月7日(月)

部活動の結果

女子バレー部部大会 出場決定!

野球部は区大会1回戦で神奈川に0-5
で負けました。
男子バレー部はブロック大会で北野
中に0-2で負け、大塚中に0-2で負
け、ブロックで6位になりました。
女子バレー部は東京女子学院に2-0で
勝ち、練馬中に2-0で勝ち、都立大出
場が決まりました。約60分ごい
ます。



Q6、座右の銘とその理由は？

高校のバレー部を指導していた時に、目標にした言葉です。
驚馬十駕(どばじゅうが)といって、
鈍い馬でも10日走れば優れた馬の1日分と同じくらいは走ることができる
という元の意味で、努力すれば才能のあるものに並ぶことができるという
たとえです。
そんな言葉が本を読んだ時にあり、僕はウマ年なので、
こういう言葉が自分にはいいかなと思いました。
今もバレー部のTシャツにそれが付いていたり、
佐藤先生に顧問が変わった時も驚馬十駕は変わらずで、
最近大会を見学していたら、横断幕までそのままで作ってくれたのに
気づいて、嬉しく思いました。

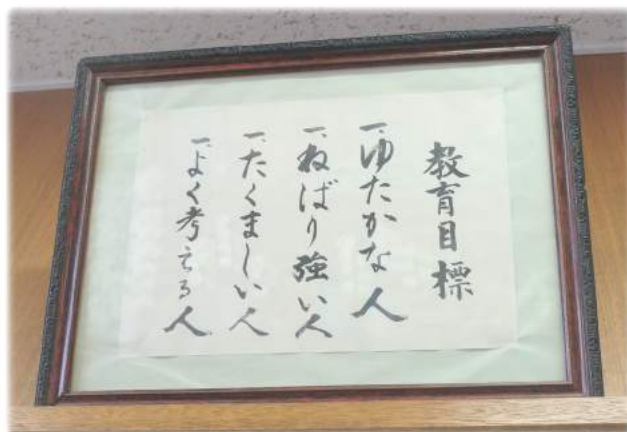
～今後の目標についてのお話～

高校の特色は何？と聞くとたぶん100%の子供たちがアソネのバラと
答えると思います。それはすごいことです。
しかし高校の教育目標は何？と聞くと、100%4つ答えられません。
先生たちも答えられないですから。これが一番大切なことで、
一番の目標なので今年はこの4つの言葉を子供たちに覚えさせたいな
と思っています。

どうやったらゆたかな人になれるの？
どうやったらねばり強い人になれるの？
どうやったらたくましくなるの？
どうやったらよく考える人になれるの？



これを1学期の目標に書いてもらいました。
そうやって書いていけば少しは覚えてくれるかなと考えています。
教育目標は校長先生の交代とともに変わったりすることもあると
思うのですけれど、
僕がいた(平成24年度の)時からあってかなり古そうなので
ずっと変わっていないのではないのでしょうか。
変わっていないということはいい教育目標だと思っているので、
それならこれをちゃんと実践できるようにしよう、というのが
今年の大きな目標です。
何か困ったら、ここをまた考え直せばいいと思っています。
心のことであったり、体力のことであったり、
学習のことであったりが含まれているので
そこはちゃんと子供たちにも先生たちにも
もう1回、確認してほしいなと思います。
これは他の学校もそうですよ。
どこの学校も教育目標は存外忘れられています。
何かの機会に思い出してもらえるように、振り返りもしていきたいなと思っています。



僕の考える教育目標のゆたかな人とは、人に対して思いやりを持っている人。簡単に言えばいじめの無い学校です。
あとは多様性が求められているので人それぞれ違うのだからその人たちを尊重できるような人を考えています。
気持ちが豊かでゆとりがあるような。それがひとつのアソネのバラにもかかわってきますよね。

もう一つ思っていることは、これはすぐにはできないかもしれませんが、
何でもそうですが先生主体でなくて生徒主体の学校運営をしたいなと思っています。
例えば体育大会は、先生の指導により子供たちが動くのではなくて
子供たちが動いて先生が支援してあげるというスタイルに変えることです。

僕が赴任したH24年度に体育大会も中身をガラッと変えてしまいました。
それ以前は全員100m走だったのですよ。
タイムもとります。それをやめてしまいました。なぜかという
(体育の教員なのに、こういうこと言うと批判されるかもしれませんが)
運動のできる子はヒーローになれるのですよ。何をやっても。
運動のできない子供たちにとっては苦痛なのです。
それなら運動できない子も楽しめることの方が僕は大切だと思ったので、
選択制にしたのです。



100m走何人、障害物競走何人、二人三脚など。二人でやるのだったら少しできるかなと考えられるようにしました。
このように個人種目を分けてその中で10人ずつなど選択できるようにしました。
そうしたら、苦手な子はこっちだったらできるよ、と楽しめるように大きく変えました。
今、本当は全体でやりたいのですけれどできないので学年ごとになっています。
理想ですが、先生方は席に座って応援していて、生徒主体で体育大会を運営してほしいと思っています。

子供たちは自分で考えて行動して、そういうところで自信を持ったりできると思います。
それをすぐにはできないから、どのようなやり方ができるかなと今、模索しているところです。

それには色々なところで先生たちが手助けしなくてはならないですし、指導するというよりは支援をするというスタイルに変えていきたいですね。都立西高校なんてそうですね。先生たちは危ない場面、騎馬戦のような競技は危険防止のために手伝って、それ以外は全部生徒が動きます。だから、中学生でもできないことはないです。しかしそれをやるための下準備はまだできてないので2年くらいかけてそういったやり方をしていければと思っています。校外学習や修学旅行も、行き先などは今はある程度先生方が考えていますが、もしかしたら子供たち、保護者の意見は聞いてますが、こんな場所に行ってみたい、こんな場所でこんな学習をしてみたいというように希望をとって決めてもいいですし、そのように子供たちが主体になれるような活動を多くしていければいいのかなと思っています。授業の中では、考える授業はいっぱいしていますが、実際の場で、もっと考えられる、社会に出た時に役に立つこととして、人との関わりの中で、どのようにして色々な意見を聞きながら自分の意見を出すかということ、これを学ぶことが大切だと思っています。

この前も生徒会の子たちと話をしたのです。学校のルールがあるけれどどう思いますかと。これはおそらく昔ながらのルールです。ブラック校則などと言われていますが、それはともかく、やっぱりあなたたちの学校生活が豊かになればいいわけですね。それなら靴下は白でなくてはいけないという決まりがあっても、別に白にしなくてはならない決まりは全くないのでは？ただ、なぜこのようなルールができたかと言えば、色々な靴下を履いてきたり、色々な派手なものを着て来たりなど荒れた時代があったから、このようなルールは学校の先生の中で決まったのです。今はそんなことはないからそこは変えてもいいのかもしれないですねと話しました。内容は自分たちで考えて決めてもいいですね。しかし、保護者の意見も聞かないといけません。制服の無い学校だってあるわけですし。あつた方が保護者にとっては良いという場合もありますよね。そのようなことは自分たちで考えてもいいのではないかと。そんな時代に来ているのではと思っています。制服を無くそうとは思っていないですけどそのように子供たちが考えてくれたらいいですね。

ルールを変えたいのであれば変えてもいいのでは。しかし、先生たちの意見も聞かなくてはならないですし、保護者の意見も聞きながら、保護者も含めて話をしてもいいのかもしれない。今のこの状況で子供たちと保護者と先生たちと地域の人を交えて話ができるかということ少し難しいかなとは思っています。



あとは校長室のオープン化ですね。保護者がいっぱい話をしに来てくれるような校長室にしていきたいなあと思っています。PTAの役員係も、今はやりたくないという保護者も多くなり大変ですよ。しかし、やれば先生たちと話ができたりしますね。子供の様子が中学校になるとわからないですし、今の状況だと学校公開も、道徳授業公開講座もできないですし、本当に学校に保護者が来ることができなくて、何しているの学校で？と不安な保護者もたくさんいる事と思います。3年生だと進路のことも不安ですよ。なるべくここだけでも、ここならば生徒と接しないで僕と接するくらいです。僕もいつでも来てもらって、話をしても構わないからと思っています。子供たちにもここにきて話をしたいとは伝えました。そしたら早速来ましたよ、3年生など、数組が。大した話はないのですが昼休みに5分か10分くらいですね。

子供たちとも保護者ともたくさん話がしたいから、コミュニケーションがとれればいいですね。何か不安なことがあればいつでも校長室に来てください。

ちょっと担任には言えないこともありますよね。色々ありますよ。なので何でもいので、オープンにしようかなと思っています。本当に452人もいので、子供たち全員の顔と名前を覚えるということがもうひとつの大きな課題です。

授業を教えていると、あっという間に、たぶん今の時期ぐらいだと全部名前を覚えています。しかし、授業をしていないから、なかなか覚えられません。なるべく名前を覚えられるようにしたいです。そうしないと話ができないですし。3年生にはお願いをしました。が体育大会が終わったら昼休みでも放課後でもいいので、一人2分くらい面接しようかなと思っています。3年生は受験対策に11月くらいから面接練習をしないといけないのです。でもいきなり初めて面接練習をしてこの子がどういつ子かもわからないのにお話するのも嫌なので、少しでもいいから緊張感のある中で、校長室には入ったこともなさそうですので、面接をして名前を覚えたいですね。ですので、いつでも保護者の方も来ていただければと思っています。